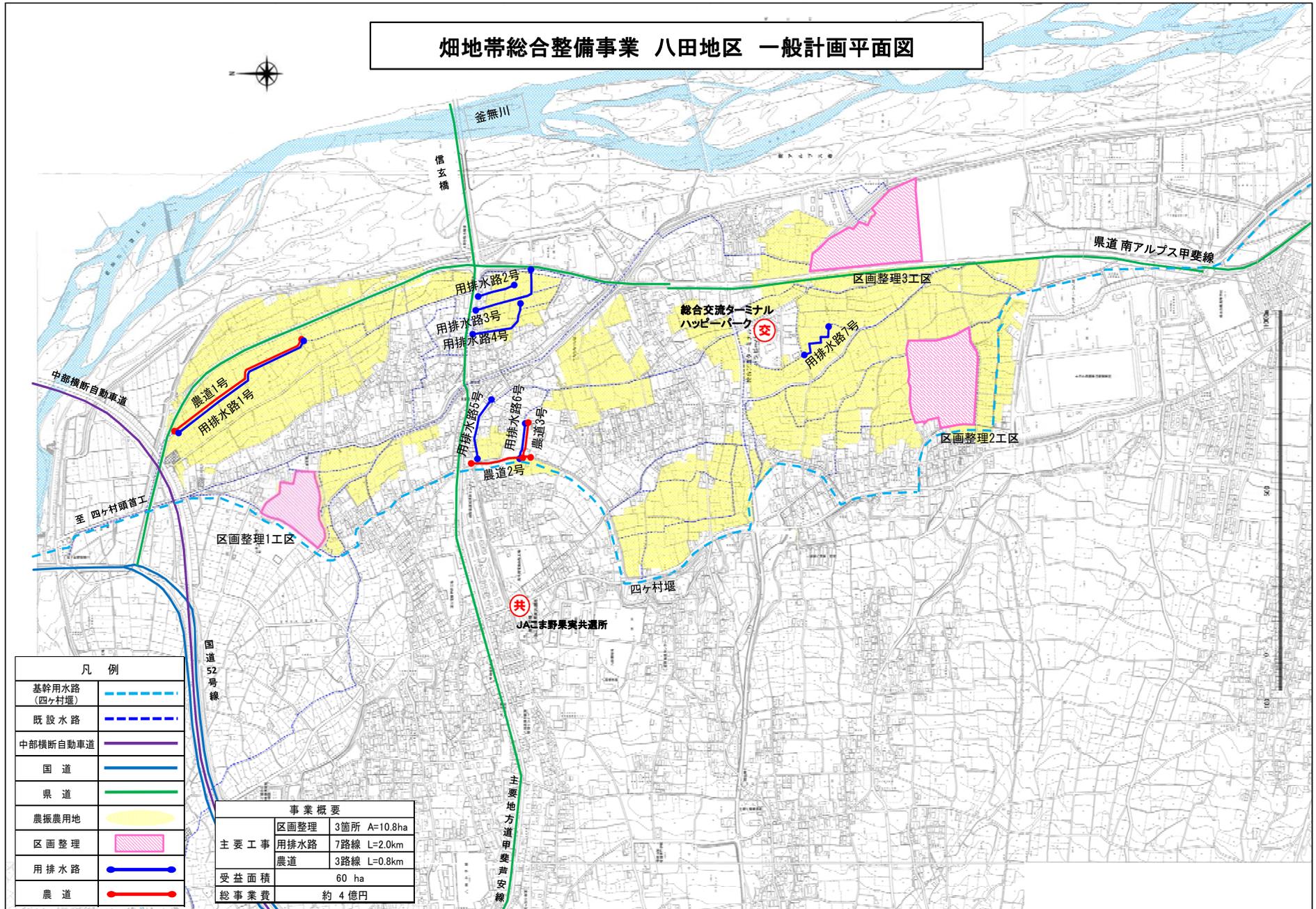


NO. 1 事業名 畑地帯総合整備事業（国補）  
箇所・地区名 はっ た  
八 田

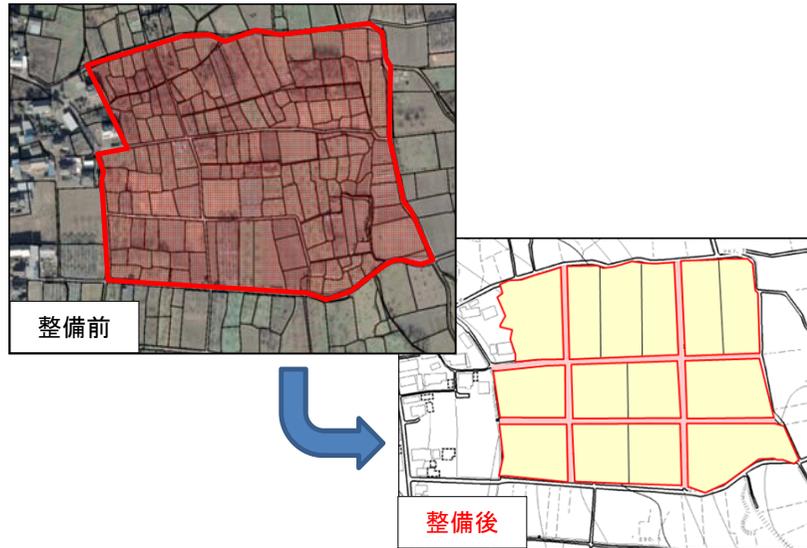
1. 事業評価説明シート

<b>事業名</b> 畑地帯総合整備事業(国補)	<b>事業箇所</b> 南アルプス市上高砂他	<b>地区名</b>	はった 八田	<b>事業主体</b>	山梨県
<p><b>(1) 事業概要</b></p> <p><b>①課題・背景</b>                  本地域は、甲府盆地の西部釜無川右岸に広がる御勅使川扇状地において、水稲を中心とした地域であったが、水はけが良く、果樹栽培に適していることから、近年はモモ、スモモをはじめとする果樹や野菜への転作が進んでいる。しかし、地区内の農地には不整形で狭小なものもあり、作業効率が悪く、担い手への農地集積が進まない状況である。                  このため、区画整理による担い手への農地集積・集約化を進めるとともに用排水路や農道の整備を総合的に行うことにより、生産性の向上と農業経営の安定化により、地域農業の維持向上を図る。</p> <p><b>②整備目標・効果</b></p> <p><b>□主要目標</b> ○農業生産力の向上                  ・農業所得増加額 1,224千円/ha<math>\geq</math>703千円/ha※</p> <p><b>□副次目標</b> ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上                  ・対象路線の幅員4m以上道路延長率100.0%<math>\geq</math>79.5%※                  ○農業用排水能力の向上                  ・(計画排水能力0.32m<sup>3</sup>/s)÷(現況排水能力0.32m<sup>3</sup>/s)                  =1.0<math>\geq</math>1.0※ (※評価基準値)</p> <p><b>□副次効果</b> ○遊休農地の解消                  ○果樹園景観の保全                  ○重要プロジェクトとしての位置づけ                  (新・やまなし農業大綱)</p>		<p><b>(3) 事業の妥当性評価</b> <span style="float: right;">妥当・妥当でない</span></p> <p><b>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>                  ・本地区は食料・農業・農村基本法に位置づけられている農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資することから行政が行うべきである。</p> <p><b>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>                  ・土地改良法施行令第50条第4項により県が事業主体となつて行うべきものである。</p> <p><b>③経済妥当性</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>                  費用便益費 便益(B)/費用(C) = 2.12 &gt; 1.0                  ・便益(B) = 802百万円、・費用(C) = 378百万円</p> <p><b>④事業実施・規模の妥当性</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>                  ・営農条件を改善する上で必要な整備量としている。</p> <p><b>⑤整備手法の有効性</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>                  ・受益面積規模、事業対象工種から、畑地帯総合整備事業で対応することが妥当である。</p> <p><b>⑥環境負荷への配慮</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>                  ・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p><b>⑦事業計画の熟度</b> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>                  ・早期着工の要望有り</p> <p style="text-align: center;"><b>総合評価</b> <span style="float: right;">[貢献度ランク: a]</span> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p>			
<p><b>(2) 整備内容と整備量</b></p> <p><b>①整備内容</b> 区画整理 A=10.8ha、農道 L=0.8km、                  用排水路 L=2.0km</p> <p><b>②整備期間</b> 平成29年度～平成33年度</p> <p><b>③総事業費</b> 約4億円                  (国費2億円(5/10)、県費1億円(2.5/10) 市費1億円(2.5/10))</p> <p><b>④全体計画</b> (年度別整備内容) (事業費)                  平成29年度 測量・設計 30百万円                  平成30年度 区画整理、農道 100百万円                  平成31年度 区画整理、農道、用排水路 100百万円                  平成32年度 区画整理、用排水路 100百万円                  平成33年度 用排水路 70百万円</p> <p><b>⑤既整備内容・期間・事業費</b>                  ・該当なし</p>		<p><b>【事業位置図等】</b></p>			

2. 添付資料シート(1)



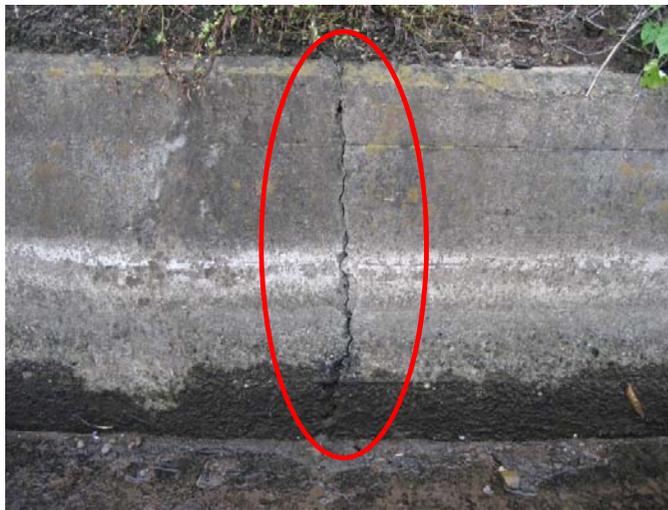
## 2. 添付資料シート(2)



①不整形で狭小なほ場を集積し、作物毎の団地化を図る。



②幅員が狭く、路面状況が悪いため、年々遊休地化した農地も増加している。



③計画路線内には、複数のひび割れが発生し、漏水により安定した用排水機能が失われている。



④多くの人で賑わう総合交流ターミナル「ハッピーパーク」への地域農産物の安定した出荷を促進する。